

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

# Dogushi

胴串 -どぐし-

Spring 2022

Vol.37

## 特集

2022年度年間イベントカレンダー  
豊かなココロを育むために

Dogushi Vol.37 2022年4月発行 発行：NPO法人いいだ人形劇センター TEL 050-044-長野県飯田市本町1-2 TEL 050-3583-3594 FAX 050-3583-3594 E-mail: iida-puppet-center@nissans.or.jp

### 掲示板 いいだ人形劇センター からのお知らせ

人形劇の活動を支援してください

#### 賛助会員募集!

NPO法人いいだ人形劇センターは、当センターの目的と活動にご理解・ご賛同いただき、活動を支援していただける2022年度の賛助会員を募っています。

賛助会員(個人・団体)にお申し込みいただけますと特典として、季刊情報誌『Dogushi』や公演・イベントなどのお知らせを随時配信いたします。皆さまのご支援をお願いいたします。

年会費

賛助会員 1口 2,000円

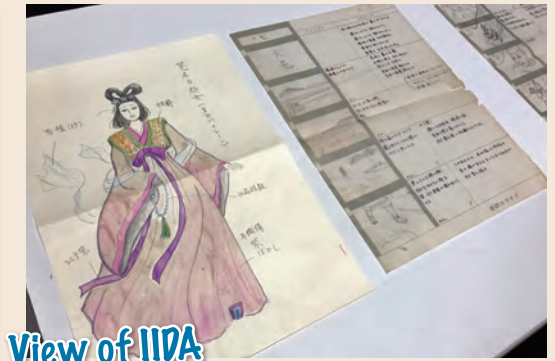
※正会員も募集しています5,000円

(企画提案、総会での議決権あり)

問合せ/いいだ人形劇センター

☎050-3583-3594

Dogushi



View of IIDA

飯田市川本喜八郎人形美術館開館15周年の特別展「川本喜八郎 人形アニメーションの世界」が同美術館3Fスタジオで開催されています。人形アニメーションの人形はもちろん、これまであまり目にする事のなかった直筆の絵コンテやデザイン画なども展示されています。6月19日(日)まで。

### 第17回 AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

ディーヴ・シュル・メール (フランス)

フランス北西部のノルマンディーにある人口5,000人ほどの小さな港町で、その歴史は15世紀まで遡り、中世の面影が今も残っています。

ディーヴ・シュル・メールでは、砂時計を意味する「ル・サブリエ」という組織が、人形劇公演などの企画やアーティストのサポートをしています。また、2018年からは人形劇フェスティバルの運営も行っています。

このフェスティバルは1986年に始まり、2022年で36回目を迎えます。毎年7月に4日間開催されるフェスティバルでは、さまざまな形態のショーや展示会を通して、アーティストが人形劇芸術の多様性を紹介します。そのほかにもワークショップや音楽、交流会などで構成されたプログラムは、大人も子どもも楽しむことができ、2019年には約1万人の観客がこのイベントに参加しました。



### 並木 さんぽ

“人形劇のまち”と言われて?発信して?久しい飯田。いいだ人形劇センターは発足当時から公演の実施だけでなく、人形製作の講座にも力を入れ、市民の皆さんに参加いただくよう呼びかけてきました。しかし、人形製作をする場所はあるものの切ないほど劣悪な環境でした。それが今春、いくらか改善され、以前と比べてずいぶん使い勝手のよい場所になりました。さらに新年度は人形劇講座の内容を刷新。気持ち新たに市民の皆さんと作品づくりを続けてまいります。

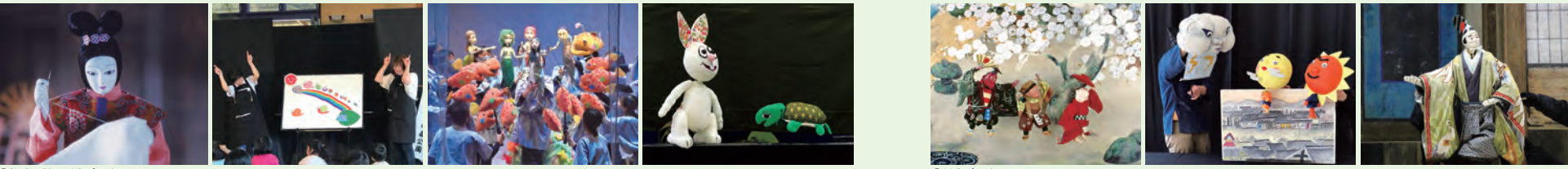
次号は2022年7月発行予定です。(帆)

表紙画:井原千代子

# 豊かなココロを育むために 2022年度年間イベントカレンダー

9月 8月 7月 6月 5月 4月

- **黒田人形浄瑠璃奉納公演**  
4月10日(日) 13時  
下黒田諏訪神社春季例祭〔無料〕  
外題／寿式三番壺
- **人形劇定期公演**  
4月17日(日) 10時30分 飯田人形劇場  
出演／「田辺」飯伊シテテ大学人形劇団ふたご座  
料金／200円(3歳未満無料)
- **季刊情報誌「Dogushi」春号発行**  
4月中旬
- **川本人形美術館 開館15周年特別展**  
「川本喜八郎 人形アニメーションの世界」  
6月19日(日)まで  
川本人形美術館3Fスタジオ  
会期中「こま撮りアニメーション体験」実施
- **人形劇講座初級コース**  
日本の民話を題材に人形製作から発表までを体験  
期間／5月16日(日)～10月23日(日)・全15回
- **人形劇定期公演**  
5月21日(土) 10時30分開演 飯田人形劇場  
出演／東野人形劇あかね、  
わたちゃんのほのぼの劇場  
料金／200円(3歳未満無料)
- **人形劇講座中級コース**  
人形劇の技術を習得するための講座  
Part 1 「人形製作」片手遣い人形  
5月28日(土)・29日(日)・6月18日(土)・19日(日)  
6月7日(火)・14日(火)・21日(火)
- **人形劇の相談所**  
いいた人形劇フェスタ上演等に向け人形劇製作に  
取り組む方のためによく相談所を開設〔無料〕
- **人形劇「人魚姫」展**  
6月下旬～8月中旬  
川本人形美術館2F交流ゾーン  
製作から初演、再演まで約10年間の活動を  
人形展示や映像などで振り返る企画展
- **森のかみしばい劇場**  
7月3日(日) かざこし子どもの森公園  
飯田下伊那の紙芝居読み聞かせグループによる  
ジョイント公演
- **いいた人形劇フェスタ「プレフェスタ」**  
7月15日(金)・16日(土) 飯田市内各所
- **川本人形美術館 企画展**  
7月～9月  
川本人形美術館3Fスタジオ
- **季刊情報誌「Dogushi」夏号発行**  
7月下旬
- **いいた人形劇フェスタ2022**  
8月4日(木)～7日(日)  
「いいた人形劇センター企画」  
シンポジウム「文化を紡ぐ女性たち」各地の  
アマチュア劇団が生み出したひとづくり「まちづくり」
- **川本人形美術館「ども写生大会」**  
8月10日(水) 川本人形美術館3Fギャラリー  
「三国志」平家物語の人物たちを描こう〔無料〕  
9月に入賞作品表彰式、参加作品すべてを  
美術館内に展示
- **川本人形美術館 川本喜八郎追悼企画**  
8月21日(日) 川本人形美術館2F映像ホール  
長編人形アニメーション「死者の書」上映〔無料〕
- **人形劇定期公演**  
9月11日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場  
市民劇団の連続公演



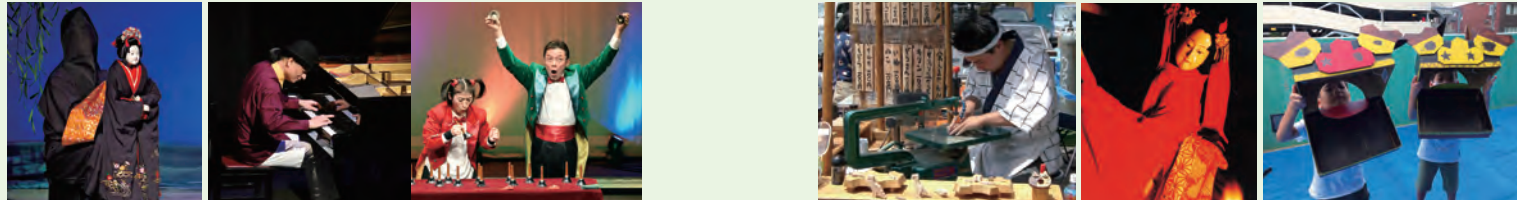
©桜映画社/川本プロダクション

©川本プロダクション

3月 2月 2023年 1月 12月 11月 10月

- **ダンボールししまいワークショップ**  
10月9日(日)・15日(土)・16日(日)  
川本人形美術館エントランス前  
獅子を舞う男・後藤渉さんを講師にダンボールで  
獅子頭をつくり、舞を練習  
頭づくり 9日(日)・15日(土)  
舞の練習と発表 16日(日)
- **人形劇定期公演**  
10月23日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場  
市民劇団の連続公演
- **今田人形浄瑠璃奉納公演**  
10月中旬 今田人形の館〔無料〕
- **川本人形美術館 開館15周年特別展**  
「川本喜八郎 人形アニメーションの世界②」  
10月～12月予定 川本人形美術館3Fスタジオ
- **季刊情報誌「Dogushi」秋号発行**  
10月下旬
- **人形劇 in 丘のまちフェスティバル**  
11月3日(祝木) 川本人形美術館  
出演／ナルカワワールド  
電動糸ノコシ「糸鋸寿司」
- **人形劇定期公演**  
12月11日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場  
市民劇団の連続公演
- **ましゅ&Keeのクリスマス会**  
12月23日(金)・24日(土) 飯田人形劇場  
ましゅ&Keeがゲストのシムシユ(アニメ)と  
ともに繰り広げるスペシャル企画  
オトナ向け、ファミリー向けのプログラム
- **初春を寿ぐ竹田人形劇**  
1月7日(土) 麻績の館  
出演／八王子車人形西川古柳座
- **人形劇定期公演**  
1月22日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場  
市民劇団の連続公演
- **川本人形美術館 第29回常設展**  
1月下旬から  
川本人形美術館3Fギャラリー
- **季刊情報誌「Dogushi」冬号発行**  
1月下旬
- **いいた人形劇まつり「りんごこ劇場」** 2月中旬  
市民劇団が企画・運営する人形劇まつり
- **保育士人形劇研修発表会** 2月中旬  
飯田市公立保育園の保育士による上演
- **人形劇定期公演**  
2月19日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場  
市民劇団による連続公演
- **人形劇定期公演**  
3月19日(日) 10時30分開演 飯田人形劇場  
市民劇団による連続公演

新型コロナウイルスの感染防止対策を施した上で実施いたします。  
また、感染拡大を防ぐため日程や内容が変更・中止になる場合があります。  
最新情報はお電話にてお問合せいただくか、いいた人形劇センターの  
Facebook・ウェブサイトをご覧ください。  
〔無料〕と表記のあるもの以外は入場料・参加費・入館料が必要です。



# 人形たちとつくるコミュニティスポット ほっこり

ほっこりでは子ども、若者、高齢者の居場所づくりに取り組み、安心できる空間と充実した時間を過ごすことができたいと思っています。外の施設での人形劇活動(アウトリーチ)も始まり、これまでにHUG(松川町)、パドルダッククラブ(喬木村)、ゆめひろ(諏訪市)に行き、人形劇上演とワークショップをしてきました。活動をする中で子どもたちが人形劇に興味をもち、人形で表現する楽しさやモノから伝えられるコミュニケーション

## 求められる「居場所」へ

シヨンの面白さを感じてもらえました。4月からほっこり内に新たに舞台コーナーをつくりました。ちょっとした仕掛けもあります。遊べる人形もたくさん増え、簡単なキットで作った人形と合わせてその舞台で動かすことができます。人形たちといっしょに遊んでみませんか。また絵本を読んだり、パズルができるコーナーもあります。スタッフによるミニステージもあります。SNS (Facebook・Twitter) もはじめました。随時情報を更新していきますので、覗いてみてください。



ほっこりのスタッフを紹介します。ぜひ遊びに来てくださいね。お待ちしております！  
植松敏明 今村幸子 吉田綾子  
森山幹夫 後藤渉



新設した舞台コーナーと、人形たちと遊べる体験コーナー

# すべての道は 飯田へ通ず

## やさしい街にて(書きたいことが沢山)

府金 総太



飯田在住・イセヤさんにバス停まで送って頂き喜びの筆者

飯田のフェスは魅力的だ。人形劇を中心とした輪の中で何かが何かと出会い、動き合っている。街を覆う熱気に加わると、ああ祭だ、と思う。時々その輪を抜け出し、見るべき作品や曖昧な約束等に背を向けてワンタン麵をすすったり、銭湯に浸かったりしている。素知らぬ顔で祭の裏側を淡々と流れている飯田があって、少し背徳と共に安らぐ。一日の終わりには、山への坂道を上る。欲張りな私は池の畔にテントで眠りたからだ。坂は夜も、また次の一日へと



2019年、人形劇団コロン「トレックパレード」の上演で、川本喜八郎美術館にて

下って行く朝も、祭と行き来するのに丁度いい道の日だった。ある朝池に車でやって来た市の職員さんは、身構えた私に「いい所でしょう」と言っていて笑ってくれた。町外れの古着屋で毎年、一品だけ選ぶのも楽しみだ。数年の間が空いて店を訪れた時、レジで店主と息子がゲームの話をしていて。それが前回と全く同じ景色なので、私はその出し物を見に来た客のような、不思議な感覚になる。飯田へは、夏休みに友達の家へ遊びに行く気持ちに似ている。家中借りて宝探しをし、一人でも誰かだけでも、ここに来て、ここでも良い。心の広い大きな家にお邪魔する気分、飯田を思っている。

次号は人形劇団コロンの山田俊彦さんです

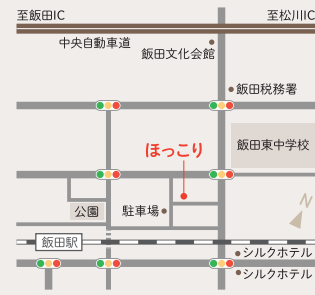
## Library Cafe 飯田とつながる世界の人形劇図書資料から⑦

### ENCYCLOPÉDIE MONDIALE DES ARTS DE LA MARIONNETTE 世界人形劇芸術事典 UNIMA80年(1929-2009) 記念出版

当時の会長H・ユルコフスキー博士が10年以上の年月をかけ制作した862頁、重量4kgものフランス語の大事典。日本の人形劇として、表紙裏表の世界人形劇写真モザイクには4点、項目として「飯田・フェスト博物館」はもちろん、「淡路人形」「文楽(人形浄瑠璃)」「文楽劇場」「文楽座」「近松半二」「近松門左衛門」「どんどろ」「ひとみ座」「日本」「からくり」「ブーク」や「北斎画・碁盤人形図」(図版)など14頁程度が掲載されているも、その日本では未だ人形劇辞典も事典もないままだが、来年の2023年には「現代人形劇100年」という節目を迎えることになる。  
(人形劇の図書館館長・瀧見英明)



UNIMA 2009



開所時間: 毎週 火曜 14:00~17:00  
第1・第3木曜 15:00~18:00  
第2・第4土曜 14:00~17:00  
参加費: 無料。時間内は自由に入退室できます  
場所: 飯田市高羽町2-5-1  
10台収容できる駐車場あり

**イベント情報**  
人形劇を観たり、音楽の演奏などを聴いて楽しい時間を過ごしましょう。  
日時: 5月29日(日)  
10:30~11:30  
※詳細はFacebook・Twitterでお知らせします

休職預金を活用した事業です  
舞い上げられ  
社会を変える  
みんなの力  
休職預金を活用した事業です

### 製作・上演サポートコース 随時募集中

新作づくり、既存作品のブラッシュアップなどを支援します。

**期間** 参加劇団の希望で実施。回数・時間帯は各グループの都合、製作内容により変わります

**対象** 飯田市で創作活動が可能なグループまたは個人、数組

**参加費** 1,000円/月



### 使い勝手がよくなりました

人形劇製作をする市民のために飯田文化会館に併設される「人形工作室」。内装工事をし、工具や材料、作業台などの配置を工夫。室内も明るくなりました。



お問合せ・申込み いだ人形劇センター ☎050-3583-3594

### ユースクラブ 随時募集中

中学生から大学生のための人形劇クラブです。

人形劇をつくって上演することを目標としますが、他のワークショップへの参加等、いろいろなことにチャレンジします。中学校の人形劇部出身の新高校生、大歓迎!



**期間** 通年(週1回程度)

**対象** 中学生、高校生、大学生

**参加費** 500円/月



## 2022年度 人形劇講座

新型コロナウイルスの感染防止対策を施した上で実施いたします  
会場は飯田文化会館・飯田人形劇場です

※参加費には基本の材料費が含まれますが、製作内容により別途材料費等を徴収する場合もございます

参加者募集!



### 中級コース 申込締切 5月20日(金)

人形劇の技術を習得するためのさまざまな講座を行います。

**日程** Part1「人形製作」片手遣い人形

①5月28日(土)・29日(日)

②6月18日(土)・19日(日)

いずれも9:30~12:30

※2日間の講座を2回行います。①②は同じ内容です

**対象** 人形製作に興味のある方

**講師** 吉澤亜由美

**参加費** 1,500円

**最少催行人数** 3人

※Part2は秋以降に実施予定です

### 初級コース 申込締切 5月10日(火)

日本の民話を題材に人形づくり、上演までを全15回で体験します。

**期間** 1回目5月16日(月)

19:00~21:00オリエンテーション

2回目以降は参加者の都合にあわせて、

昼または夜の開催とします

15回目最終講座の成果発表は10月23日(日)を予定しています

**対象** 人形劇初心者、人形劇経験の少ない方

**講師** くすのき燕、吉澤亜由美、関島路乃

**参加費** 1,000円/月

**最少催行人数** 2人



小劇場



野外劇場



建物図面

業が予定され、日本から招待する人形劇を探すために、2011年に代表のカタリーナさんがいだ人形劇フェスタに来て、多くの日本の人形劇を見ていかれました。その時にひとみ座乙女文楽を見てマリボルに招待して頂き、小ホールで公演とワークショップをしました。とても楽しい思い出です。

2012年に欧州文化都市という事

残念ながら私が訪ねたときはまだありませんでした。毎年夏にはこの野外劇場で演劇の他、映画やコンサートなどが行われているそうです。行ってみたいですね。

飯田市と同じような規模です。マリボル人形劇場は市立人形劇場で、1973年設立、代表者は市議会から5年任期で委嘱されるようです。俳優(人形遣い)8人、美術家4人、管理部門5人、技術者(照明、音響など)2人、ハウスキーパー1人、です。劇場は2つあり、大ホールは客席182席(子ども用に使用の場合は273席)、小ホールは48席(子ども用は72席)です。なんと、大ホールは屋根がガバーと開いて、野外劇場になるのです!あまりの驚きに図面を付けました。



### マリボル人形劇場

NPO法人人形劇ファクトリー 松澤 文字

マリボルは1992年に旧ユーゴスラビアから独立した、スロベニア東北部にある第2の都市です。人口11万人ですから、飯田市と同じような規模です。